

目標達成計画

事業所名 社会福祉法人法人 若穂会
グループホーム あい

作成日: 平成 27 年 4 月 11 日

別紙
2

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップに向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

目標達成計画					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	(利用者同士の関係の支援) 日常生活の様々な場面を通じて利用者同士が馴染みの関係を構築できるよう支援しているが、認知症のレベルや性格等により利用者同士のトラブルが生じる場合があり、関係の調整力がまだまだ不十分である。	一人ひとりの認知症のレベルや心身状態の把握に努める。利用者同士の関係や力、個性をうまく活かし、利用者が孤立せずに共に暮らしを楽しめるよう支援していく。	個別に話を聴いたり個々に合わせたレクリエーションを取り入れたりし、みんなで楽しく過ごせる場面づくりをする。心身の状態やその時の気分など感情が変化するため利用者同士の関わりに気付けるよう注意深く見守りを行い、気づいた情報は職員で共有する。	12か月
2	13	(災害対策) 併設のケアハウスと合同で年に2回、避難訓練を実施しているが、様々な場合を想定しグループホーム単独でも避難訓練を実施する必要がある。	グループホーム内でも避難訓練を実施し、利用者の残存能力を活かせるような実践的な訓練を行う。	グループホームだけの訓練を年に2回以上行う。そのなかで、地域の方々や周囲の参加を呼びかけ、協力を得ながら一緒に訓練を行う。日頃から消火器や避難路等の整備点検を定期的に行い災害時に対応できるよう努める。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月